

<b>重点目標</b>	<b>【あいさつと健康・学びでつながる学校と地域】</b> (校種間連携・地域連携)	P
<b>現 状</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童と園児の交流や職員間の参観交流、幼保小情報交換会を実施。</li> <li>・6年生は二中、南中に分かれて交流会を実施、二中とはオンライン交流、南中とは訪問交流、中学校説明会も同様に実施。</li> <li>・6月～12月まで毎月児童民生委員との連携であいさつ運動を実施。ラジオ体操やPTA「歩こう会」に保護者や地域の方と一緒に実施。</li> </ul>	
<b>具体的な目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流活動の充実を図り、幼稚園・保育所等から小学校への接続、小学校から中学校への接続が一層円滑になるような機会を設定する。</li> <li>・保護者アンケート「学校は地域から学ぶ、地域に貢献する」「学校と家庭・地域との連携」の肯定的評価の割合90%以上を目指す。</li> </ul>	
<b>目標達成のための方策</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼・保・小の連携事業では、新年度入学予定の園児のいる幼稚園・保育所に参加を呼びかけ、児童との交流を実施する。</li> <li>・小・中連携では、6年生が進学する二中・南中で授業を参観したり、活動を協働実施したりできるように働きかける。</li> <li>・心をつなぐ「あいさつ」が具体的なものとなるように、学校運営協議会において取組のあり方を模索し、できることから着手する。</li> <li>・地域学校協働活動を、同想会等の組織とも連携して充実させる。</li> </ul>	
<b>具体的な取組状況</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながら、仲よし交流会、焼きいも交流、町探検等の交流活動を計画した。</li> <li>・能代第二中、能代南中学、それぞれの進学先の学校区で、6年生が交流できる活動を計画する。</li> <li>・ラジオ体操やPTA「歩こう会」を、地域にも呼びかけて実施することを計画した。</li> <li>・教科等、各学年の地域に関わる学習が、より一層充実できるように、地域学校協働活動として実施していく。</li> <li>・同想会と連携した稲刈り・田植えを実施して、地域に根ざしたふるさと・キャリア教育に資する。</li> </ul>	D
<b>達成状況</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童と園児の交流、職員同士の保育参観・授業参観を実施。また、幼保小情報交換会も有効活用できた。</li> <li>・進学する各中学校区での6年生の交流活動を模索したものの、日程等が合わないことで実施できなかった。南中には、6年生が体験入学で訪問できたが、二中には訪問ができなかった。</li> <li>・夏休みのラジオ体操やPTA事業「歩こう会」に保護者や地域の方にも参加していただき、地域の方々と一緒に活動することができた。</li> <li>・地域学校協働活動推進員の尽力により、2年・3年・5年の生活科や総合的な学習の時間での地域学習を学習支援ボランティアと一緒に実施することができた。特に、あいさつで地域とつながることを意識した5年生の学習は、地域との連携を住民に意識づけることになった。</li> <li>・4年生が、同想会の発案による稲刈り・田植えを行うことができた。地域を知り、地域のこれからを考える一助となった。</li> </ul>	

自己評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケートの結果は、88.3%と目標値に達しなかったものの、学習や活動を通じて地域の方々とより深くつながり、児童が地域の一員であることを自覚できた点は成果であると考えます。</li> <li>・昨年からの懸案であった田植え・稲刈りを、同想会の尽力で実施できたことは、今後、地域学校協働活動を充実させる上で大きな一歩になったと考えます。</li> <li>・幼・保・小の連携は、着実に成果を生み出している。中学校との連携は、各中学校とのバランスを考慮しながら、よりよいあり方を考えていく必要がある。</li> </ul>	C
------	---	--	---

↑  
評価基準  
↓

A : 具体的な活動がなされ目標を達成できた  
 B : 具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない  
 C : 具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない

学校関係者評価と意見	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間的余裕が少ない中で、地域とよく交流しようと努めている。住民とのふれあいが地域の潤いとなっている。</li> <li>・同窓会組織と連携した田植えや稲刈りが、学習の中で再開され、また、歩こう会が複数回実施できていて、無理のない連携体制である。</li> <li>・アンケートの目標値には少し足りないが、よい方向に進んでいると理解している。</li> </ul>	C
------------	---	---	---

自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	地域と関わることで学びの幅が広がるのが体感できるように、教科等の学習を通じた地域連携を進めていくように努める。 地域学校協働活への理解を深め、教職員が主体的に地域連携や学校間連携を促進できる体制の構築に努める。		A
-----------------------	--	--	---